



わんぱく原っぱ運動会

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・自然の中で行うゲームの楽しさを味わうことができます。
- ・ルールを守り、グループで活動することで交流を深めることができます。

【教科への対応】 小学校：体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 虫取り遊び、ザリガニ釣り、各種創作活動など

2 活動の概要

紅白などのグループに分かれ、キャンプ場などの原っぱで行えるゲームを3～5種目行って勝敗を競う活動です。

(1) 人数 160人以内

※一度に実施できるのは80人程度（1組10～20名で最大4組まで）のため、他のプログラムと組み合わせて実施することが望ましい。

(2) 対象 幼児～小学2年生

(3) 期間 4月下旬～11月上旬

(4) 時間 1～1.5時間（説明10分＋活動50分～80分）

(5) 場所 キャンプ場

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<ダンボールキャタピラリレー>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗ふきタオル、帽子、運動しやすい服装、必要に応じて軍手
自然の家	用具一式、ピプス、スタート・ゴール用コーン、スズメバチ用殺虫剤

4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。
用具担当者	1～2名。用具の設置・回収を行う。



<ジャンボ輪投げゲーム>



<フライングディスク入れゲーム>

5 活動の流れ

	内 容										
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・紅白などのグループに組分けを行う。 ・組の見分けがつくようにビブスなどを着用する。 ・3～5種目のゲームについてやり方を説明する。 ・活動支援者は、走る順に並べたり、ゲームが終わった子どもを座らせたりする。 ・用具担当者は、自然の家職員の指示に従って用具の設置・回収を行う。 										
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームは大きく「リレー方式」と「団体方式」に分かれる。 ・勝敗は1ゲーム毎に決定し、最終的に何勝何敗したかで競う。 <p>【主なゲーム】</p> <table border="0"> <tr> <td>(リレー方式)</td> <td>(団体方式)</td> </tr> <tr> <td>・「宝さがしリレー」</td> <td>・「松ぼっくり入れゲーム」</td> </tr> <tr> <td>・「ダンボールキャタピラリレー」</td> <td>・「フライングディスク入れゲーム」</td> </tr> <tr> <td>・「モルックボウリングリレー」</td> <td>・「ジャンボ輪投げゲーム」</td> </tr> <tr> <td>・「ベンチでじゃんけんリレー」</td> <td>など</td> </tr> </table> <p>※発達段階や季節に応じて、自然の家職員からゲームを提案する。</p>	(リレー方式)	(団体方式)	・「宝さがしリレー」	・「松ぼっくり入れゲーム」	・「ダンボールキャタピラリレー」	・「フライングディスク入れゲーム」	・「モルックボウリングリレー」	・「ジャンボ輪投げゲーム」	・「ベンチでじゃんけんリレー」	など
(リレー方式)	(団体方式)										
・「宝さがしリレー」	・「松ぼっくり入れゲーム」										
・「ダンボールキャタピラリレー」	・「フライングディスク入れゲーム」										
・「モルックボウリングリレー」	・「ジャンボ輪投げゲーム」										
・「ベンチでじゃんけんリレー」	など										
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・順位の発表 ・ふりかえり ・借用物品の返却 										

6 実施上の留意点

- ・まだやっていない子、もう終わった子などが区別できるようにする（終わった子はしやがむなど）。
- ・スタート・ゴールの距離や、ターゲットまでの距離などは、発達段階に合わせて近づけたり遠ざけたりする。
- ・勝敗だけにこだわり過ぎず、最後までやり遂げたことや達成感を味わわせるような声かけや励ましをする。

7 安全に実施するためのポイント

- ・熱中症対策のため、十分な水分補給をさせる。（途中の休憩必須）
- ・手やひざのすりむきなどへの対応策として、軍手を着用したり、長ズボンをはかせたりする。

8 エリア地図

